

平成30年度 コミュニティ・カウンセリング・センター講座案内



主催 特定非営利活動法人

コミュニティ・カウンセリング・センター（CCC）

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-23-1

ニュー・ステイト・メナー727号

TEL：03-5351-2603 FAX：03-6276-7110

E-mail：c.c.center@y6.dion.ne.jp

ホームページ：http://ccc-npnc.org/

1. ≪NPファシリテーターのためのフォローアップ講座（単発3回）≫

カナダ生まれのNPプログラムが日本で始まって15年あまりが経過し、その内容は子育て環境の変化に伴い変わり続けています。ファシリテーターになって年月を重ねた方は特に、ご自分の知識やスキルを最新のものにバージョンアップするためにぜひご受講ください。どの回も内容は同じです。受講された方は、認定ファシリテーターの資格更新となります。

<第1回> 6月23日（土） 13:30~16:30（3時間）

会場：東京都新宿区立新宿文化センター 第4会議室

講師：NPNC認定トレーナー

対象：NPファシリテーター 8名~20名

受講料：5,000円

申込締切：6月9日（土）

※この後 <第2回> 10月 <第3回> 3月 も予定しています。

※予定月の3か月前には日程が決まりますので、ホームページでお知らせいたします。

2. ≪子育て支援者のための講座（単発8回）≫

今年度の「子育て支援者のための講座」も、1回ごとの形態となっています。1回だけの受講でも結構ですし、すべてを受講されるのも大歓迎です。どの講座も子育て支援者にとって役立つ内容となっております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

NPファシリテーターでない子育て支援者も受講することができますので、お誘いあわせの上ご参加ください。

期日：裏面表内参照 時間：13:30~16:00

会場：東京都健康プラザ「ハイジア」4階ウェルネスエイジ会議室・研修室等を予定

対象：保育士、幼稚園教諭、保健師、子育て支援関係者など、子育てに関わる仕事・活動をしている方

募集定員：各回26名

受講料：各回3,000円、但し 第4回のみ4,000円

申込締切：各回とも実施日の2週間前 *第1回（6/9）は上記研修室Aで決定、5/25締切

※各回の期日・テーマ・講師・講座内容は裏面をご覧ください。

講座内容

回	期日	テーマ	講師	内容
1	6/9 (土)	子育て支援における「愛着」と「愛着障害」の支援について	柴田俊一氏 (常葉大学/ 臨床心理士)	本年度講座全体について企画の趣旨などを説明します。 「愛着」の重要性について改めて学びます。また、近年、普通の子育て中の親子にもスマホ問題などから、軽度ではあるが「愛着障害」と見立てられる場合が増えてきています。「軽いけれど愛着に障害がありそう」というケースの実態と支援について学びます。
2	7/14 (土)	何もしないと「ふたりは同時に親になれない」問題について	柴田俊一氏 (常葉大学/ 臨床心理士)	子どもが生まれると2組に1組は夫婦関係が悪化すると言われていています。「妻」は生物的に出産・授乳を通じて「母親」になっていくプロセスが自動的に進行しますが、「夫」が「父親」になるプロセスは遅れがちです。この夫婦間の「ずれ」が夫婦の危機を招くことがあります(産後クライシス問題)。子育てのパートナーとどう関係を維持していけばよいのでしょうか。関係改善について学びます。
3	8/18 (土)	父親の子育て～父親向けNPの実践から	山本康人氏 (いしかわ結婚・子育て支援財団)	父親の子育てへの協力の度合いにより、母親の精神的ストレスの度合いや、第二子が生まれる確率なども変わってくるようです。子育て中の父親向けNPの実践や、子育て中の夫婦のずれの問題を扱う講座の実践についても学びます。
4	9/29 (土)	共感セッション「もうすぐ赤ちゃんがやってくる」プログラムについて	後藤あや氏・石井佳世子氏 (福島県立医科大学)	オーストラリアの出産前のカップルを対象とした共感セッション「もうすぐ赤ちゃんがやってくる」というプログラムについて体験的に学び、実施できるようにします。妊娠中にお互いを理解し、出産後の心配なことなどを分かち合うことにより、母親の産後うつを予防する目的があります。妊娠中からの夫婦の絆づくりの試みは産後クライシス問題の予防にもなると思われます。
5	10/27 (土)	「親になるために学んでおくべきことを学ぶ講座」(親なる)実施について	柴田俊一氏 (常葉大学/ 臨床心理士)	「親なる」講座は、妊娠期に4回、出産後に2回、夫婦で参加するプログラムです。産前は、夫婦間の産後の意識のずれがどこから起こるのかなどを中心に学び、親になるための意識づけを通して、夫婦で“子育て家庭にしていく”という覚悟などを促し、産後2～3か月までの負担の重い時期の夫婦の協力の仕方なども学びます。出産後の2回は経験の分かち合い、愛着を育てる子育てについての学び、夫婦関係の変化、修正点等について話し合いなどを行います。 この6回連続プログラムの実施方法について学びます。第2・4回と続けての受講をお勧めします。
6	11/10 (土)	対応の難しい保護者との関係をどうするか	柴田俊一氏 (常葉大学/ 臨床心理士)	我が子の発達の偏りを認められない保護者、そもそも親御さん自身が愛着の問題をもっている方、精神的に不安定な方など、対応が難しくなっている状況がどこの現場でもあるかと思います。これら対応の難しい親御さんとの関わり方について考え、ロールプレイなども取り入れ実際にどうしていったらいいのかを学びます。
7	1/19 (土)	思春期の心理学	中村富美子氏 (CCC理事長/ 臨床心理士)	子どもの発達の中で、「思春期」は大人への過渡期として、いろいろな問題が現れる時期でもあります。「親ばなれ」が始まることにより、自分が何者なのか、人生をどう生きるべきかなどアイデンティティ(自我同一性)を意識し、ゆらぐ時期でもあります。改めて思春期の特性につき学びます。
8	2/16 (土)	思春期の子の問題で悩んでいる親とどう接するか	中村富美子氏 (CCC理事長/ 臨床心理士)	子どもが思春期になると、いままでと変わってしまったり反抗的になったり、場合によっては非行の問題などが出てくることもあります。親はどう子どもと接してよいのか悩み、戸惑う時期でもあります。思春期の子を持つ親をどう支援するかについて学びます。

* 都合により日程等が変更される場合があります。

* 別紙『講座申込方法』をお読みの上、お申し込みください。